

第七十三回帝國議會
衆議院

重要礦物増産法案外一件委員會會議錄(速記)第二回

付託議案
重要礦物増産法案(政府提出)
日本產金振興株式會社法案(政府提出)

會議

昭和十三年二月二十五日(金曜日)午前十時
三十八分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 森田 福市君

理事寺島 權藏君 理事高橋壽太郎君

理事瀧澤 七郎君 理事中田 儀直君

理事中野 寅吉君

野田文一郎君 小山 谷藏君

篠原 陸朗君 原 玉重君

松尾 三藏君 金澤 正雄君

板谷 順助君 砂田 重政君

青山 憲三君 川崎巳之太郎君

松山常次郎君 加藤 鏐造君

松永 義雄君 道家齊一郎君

小野 謙一君

出席政府委員左ノ如シ

大藏省爲替局長 中村孝次郎君

商工政務次官 木暮武太夫君

商工參與官 佐藤謙之輔君

商工省工務局長 小島 新一君

朝鮮總督府鐵道局長 吉田 浩君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

企畫院調査官 和田 耕作君

企畫院技師 田中隆一郎君

海軍機關中佐 大橋 謙一君

海軍造兵中佐 坂田 守之君

商工省鑛山局技師 加賀山 一君

朝鮮總督府殖産局長 穗積眞太郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

重要礦物増産法案(政府提出)

日本產金振興株式會社法案(政府提出)

○森田委員長 ソレデハ會議ヲ開キマス、商

工大臣ガ貴族院ノ分科會ニ出席セラレテ居

リマスノデ、今日コチラヘ御見エニナラス

サウデアリマスカラ、申上ゲテ置キマス

○板谷委員 資料ノ提出ヲ要求致シマス、

產金振興株式會社ノ事業計畫書、竝ニ事業

豫算ノ内容ヲ、詳細ニ御知ラセラ願ヒマス、

ソレカラ從來製鍊場建設ノ助成ニ對スル補

助金ノ渡先明細書、竝ニ掘鑿費ノ補助ニ對

スル渡先ノ明細書、及ビ鑿岩機ヲ御貸付ニ

ナッテ居ル渡先ノ明細書、其御提出ヲ願ヒマ

ス

○小金政府委員 一寸御尋致シマスガ、掘

鑿費デゴザイマスカ

○板谷委員 掘鑿費用ノ補助ニ對スル渡先

ノ明細書デス

○小金政府委員 ソレハ吾々ノ方デ探鑛獎

勵金ト申シテ居リマスガ、ソレノコトデゴ

ザイマスカ

○板谷委員 サウデス

○森田委員長 質問ハ今日カラ順次ニ願ヒ

タイト思ヒマスガ、高橋サンハ如何サレマ

スカ

○高橋委員 私ノ質問ハ昨日請求致シマシ

タ資料ガ出マシタ上デ、成ベク纏メテ致シ

タイト思ヒマス、保留サセテ戴キマス

○森田委員長 次ハ板谷サンデスガドウデ

スカ

○板谷委員 私ハ先達ノ本會議ニ於ケル、

大臣ノ御答辯ヲ承テカラ、質問致シタイト

思ヒマス、大臣ノ御出席ガナケレバ質問ガ

出來マセヌカラ、保留致シマス

○森田委員長 質問ノ順ハ野田サンニナリ

マスガ、ドウナサイマスカ

○野田委員 私ハ一寸大臣デナイト質問ハ

出來兼ネマス

○森田委員長 瀧澤サン

○瀧澤委員 資料ヲ戴イテ尙考ヘテ見ルコ

トガアリマスカラ、其後デ致シマス

○森田委員長 ソレデハ山田順策サンハ居

ラレマスカ、居ラレマセヌカ——川崎サン

ハ

○川崎委員 私ハ昨日資料ヲ要求シテ居リ

マスガ、マダ御配付ニナラスヤウデアリマ

スカラ、資料ヲ待ッテカラニ致シタイト思ヒ

マス

○瀧澤委員 皆サン正式ナ御質問ハ皆留保

シテ居ラシヤルヤウデスカラ、是デ休憩ヲ

シテ、懇談的ニ御聽キニナッタラ如何デセウ

カ

○金澤委員 私ハ大臣ハ居ラナクテ結構デ

スカラ、質問シタイト思ヒマス

○森田委員長 金澤君

○金澤委員 私ハ三ツバカリ御尋致シタイ

ト思ヒマス、一ツハ產金法以下、今度モニ

ツバカリ法律案ガ出テ居リマスガ、色々獎

勵法ヲ制定シ、方針トシテ色々獎勵シテ居

ラレマスルガ、差當テノ見透シニ付テ、一ツ

同ヒタイノデアリマス、尙モウ一ツハ支那

ノ方ノ狀況ニ付テ同ヒタイ、第三點ハ監督

上ノ點ニ付テ、御同シタイノデアリマス

第一點カラ申上ゲマス、金ノ如キハ大

體五箇年計畫ヲ立テラレテ、内地ガ五十六

廳、朝鮮ガ七十五廳、昭和十七年度ニハ斯

ル見込計畫ヲ立テラレテ居ルヤウデアリマスガ、其後實際トシテハ、相當多クナリツ、アルヤウニ思ッテ居リマス、殊ニ朝鮮ノ方ナドハ、五箇年計畫ヲモット早く、實績ガ舉ゲラレルカノヤウナ或ル責任者ノ話モアリマスケレドモ、現在斯ウ云フヤウナ法律モ出マスルシ、産金會社法ノ法律モ出テ居ル譯デアリマスガ、見透シトシマシテハ大凡ドウ云フヤウナ具合ニ行キマスルカ、尙ホ澤山探レル見込デアリマスガ、獎勵ノ結果トシテノ見透シヲ伺ヒタイノデアリマス、尙ホ鋼鐵ノ如キモ、十二年度ニ大體約五百万噸、十六年度マデハ大體毎年三十万噸ヅ、ノ増デアッテ、結局ハ六百万噸生産サレル見込ノヤウデアリマスガ、需要トシマシテハ、今度ノ戦争デモット増シテ居リマセウシ、又實際トシマシテハ、例ヘバ造船所ノ如キハ鐵ガ足りナイ爲ニ、今困ッテ居ルヤウナ状態デアリマス、需要ノ見込及ビ之ニ對應スルニハ、差當ッテドウ云フ具合ニナリマスガ、サウ云フ點ヲ私御伺ヒシタイノデアリマス、尙ホ鐵石トシマシテハ十二年度デハ内地トシテ約百五十万噸、輸入トシテ三百八十三万噸、十六年度ニハ内地デ三百五十万噸、輸入ガ五百六十七万噸ノ御見込ノヤウデアリマスガ、其後ヤハリ情勢ガ變ッテ

來ルノデヤナイカト思ヒマス、ソレ等ニ付テノ大凡ノ御見込ヲ、ハッキリシタ數字デナクテモ宜シイガ、情勢ヲ伺ヒタイ、銅ニ付テモ内地ガ約八万噸ノ產出デアリマスガ、輸入ガ五六万噸ノ輸入ニナッテ居リマス、爲替統制其他ノコトデ、ドウ云フ數ニナルカ分リマセスガ、或ハ需要ガ減ルカモ分リマセス、内地ノ產額デハドウ云フ風ニ行キタイト云フ希望ヲ以テ、此増産法ノ運用ヲ圖ラレルノカ、大凡ノ見込ヲ伺ヒタイノデアリマス、鉛トシマシテモ、需要ガ約十萬噸以上アルノデアリマスガ、内地ハ僅ニ一割足ラズ、併ナガラ鉛ノ方デハ朝鮮ニハ可ナリ鑛區ガアルヤウデアリマス、滿洲方面ニモアルヤウデアリマス、殊ニ朝鮮ナシカハ大分手モ著イテ居ルヤウデアリマス、品位モ良イノガアルヤウデアリマス、ソシナ方面ノ御調ガアリマスレバ伺ッテ、ドウ云フ風ニ見透シガ付クノカ、或ル程度ノ見透シヲ伺ヒタイ、亞鉛ノ方デモ、需要ハ約十萬噸デアリマスガ、内地ノ約二倍位ノ輸入ガ現在アルノデアリマス、是モ相當値段ガ値上リニナリマシテ、鉛ト同ジヤウニ相當増産サレテ居ルヤウデアリマス、是モ或ル程度ノ見透シガ付クノデヤナイカト思ヒマスルガ、ソレ等モ一ツ伺ヒタイ、錫ハ大體六十五万

噸位ノ需要デアリマスルガ、内地ハ僅ニ二千噸位シカ產出致シマセス、是等モ増産法ニ依ッテ、ドレダケノ見込ヲ御付ケニナリマスルカ、錫ハ相當困難デヤナイカト思ッテ居リマス、是モ伺ヒタイ、ソレカラ「アルミニウム」デアリマスガ、是ハ十三年度ニ於キマシテハ、主ナル會社五社ガ増産見込ヲ立テマシテ、三万九千噸出ル豫定ノヤウデアリマス、其後「ジュラルミン」ノ需要ガ可ナリ多クナッテ、飛行機ノ方ナシカニモ可ナリ使フノデアリマスガ、生産ガ間ニ合ハナイデ、少シ困ッテ居ルヤウナ狀況ガ、現實ニアルノデアリマス、是ハ自給自足ガ相當ニ直グ付クノデヤナイカトモ思ヒマスケレドモ、是等ニ付テノ御話ヲ承リタイ、「ニッケル」ハ貧鑛處理ヲシテ居ラレルヤウデアリマス、是等ノ成績及ビ將來ニ付テ伺ヒタイ、ソレカラ石炭ノ需要及ビ石油ニ關シテノ需要ト生産ノ關係ヲ、一通リ見透シヲ伺ヒタイ、第一點ハソレダケデアリマス

第二點トシマシテハ、支那ノ狀況デアリマス、大體現在ノ占領地バカリデナシニ、支那トハ經濟的ニ連繫ガ出來ル見込ヲ以テ、現在ノ政府ハ進ンデ居ラレルヤウデアリマスシ、結局滿洲國ノヤウニ新シイ國ヲ承認サレルヤウニナルノカ、或ハ支那全體ノ政府トシテ認メラレルヤウニナルノカ、何レニ致シマシテモ現在ノ占領地以外ノ地域ニマデ及ンデ、相當經濟的ノ連繫ガ出來ルノデハナイカ、斯ウ考ヘルノデアリマス、是ハ調査未了デハゴザイマセウガ、併シ或ル程度ノ御調査ハオアリニナルノデハナイカト云フコトヲ、考ヘルノデアリマス、北支ノ方ノ石炭デアルトカ、或ハ陝西省ノ方、山西カラ川向ヒニ渡リマスト云フト、延長ノ石油ノ鑛區ガアルヤウデアリマス、西安事件ノ直後ニ十五人バカリノ國際聯盟ノ技術者ガ參リマシテ、主トシテ亞米利加人デゴザイマシタガ、亞米利加ヘ報告シタト云フ話ヲ聞キマス、大體延長カラ潼關ヲ繋グ線ニ、相當大キナ石油鑛區ガアル、世界ノ現在ノ需要量ヲ五十年間位ハ供給ガ出來ルノデハナイカト云フ大マカナ非常ニ有望ナ話ヲ、報告シタカノヤウナ噂ヲ聞イテ居ルノデアリマス、是等ハ山西ノ戰線カラ一跨ギデゴザイマシテ、ソレ等ノ延長、陝西省ノ石油ノ狀況ガ、御分リデシタラ承リタイ、尙ホ金ニ付キマシテハ、支那ニハ餘リナイヤウデアリマスガ、併ナガラ山東省ニ於キマシテハ、少シ亞米利加ノ利權ガ入ッテ居ッタヤウデアリマスケレドモ、其後韓復榘ト淺野總一郎ノ方ト、或ル程度ノ話

合ガ付キ掛ケテ居タト云フ際ニ、今度ノ事變ガ起ツタト云フ話ヲ聞イテ居リマスガ、其處ハ可ナリ品位モ良ク相當ノ、例ヘバ三十米トカ四十米トカノ鉞幅ガアルト云フヤウナ噂モ聞イテ居リマスルガ、若シ御分リデシタラサウ云フ狀況モ伺ヒタイ、又鐵ハ安徽省以外ニ、福建省ニ於キマシテハ西原借款ニ依ル關係モアリマシテ、或ル程度ノ御調査ガ付イテ居ルト思ヒマス、今ノ綏遠邊リノ鐵ハ、運賃ガ非常ニ掛ルモノデアリマスカラ、彼處デ鉄鐵ニシナケレバナラスデアラウト云フヤウナ話モ承ッテ居リマス、福建省ノ鐵ハ十分ニ日本ノ製鐵所ニ賄ヒ得ルダラウト想像サレルノデアリマス、是等ニ付テモ御見込ヲ承リタイ、ソレカラ「タンダステン」ノ如キハ、湖南省デハ殆ド全世界ノ產額ノ九割以上モアルカノヤウニ、噂ヲ聞イテ居リマス、是等ノ狀況モ承リタイ、ソレカラ錫デアリマスガ、雲南、貴州ノ方カラハ既ニ「シンガポール」ノ方ヘ相當出シテ居ルヤウデアリマス、尙ホ海南島ノ方ニハ、マダ出シテ居リマセスカ知レマセスガ、相當ノ鑛區ガアルヤウデアリマス、サウ云フ大マカナ點モ一ツ承リタイ、即チ日本ノ内地ノ開發ト云フコトモ十分必要デアリマセウガ、「コスト」ヲ安クスルト云フ上カラ言

ヒマス、ト、豐富ナ品位ノ良イモノヲ外國、殊ニ支那——若シ日本ノ勢力範圍ニナリマスタバ、支那カラ供給ヲ受ケルト云フコトハ、最モ必要ナコトと思ヒマスノデ、サウ云フ意味カラシテ、ドウ賄ヒヲ付ケ得レルカト云フコトノ御調査アリマスレバ承リタイ、唯是等ハ今直グ此場デ承ラナケレバナラストモ思ッテ居リマセス、委員會ノ續ク間ノ他ノ機會ニ於テデモ宜シウゴザイマスカラ、承レバ結構ダト存ジマス、是ガ第二點デアリマス

第三點ハ監督權ノ問題デアリマス、今度増産計畫ノ此法律ニ依リマス、可ナリ監督權ガ及ブ譯デアリマシテ、計畫ヲ樹テセタリ、或ハソレニ活動ヲサセタリ、又ハ隣鑛區其他ノ鑛區ヲ買収モ出來ル、指定モスル、斯ウ云フコトニナルノデアリマスカラ、要ハ所謂山師ト謂ヒマシテ、中々難シイモノデアッテ、當レバ結構ト云フ位ナモノデアリマスカラ、相當困難ナコトと思ヒマスガ、併ナガラ鑛區地ニ於キマシテハ各監督局又ハ鑛山局ニ於キマシテ、優秀ナ技術者、殊ニ經驗ヲ持ツ技術者ヲ相當御増員下サルコトガ、必要ナノデハナイカト斯ウ思フノデアリマスガ、ソレ等ニ付テノ御意見ヲ伺ヒタイノデアリマス、尙ホ色々金ヲ貸

シテ増産サセル譯デアリマスガ、實ハ百「キロ」ノ「モーター」ヲ註文シマシテモ、一年掛ルト言ハレルシ「ケーブルカー」ノ「ケーブル」ノ鐵索ヲ註文シマシテモ半年以上掛ルト云フノデ、實際困ッテ居ルノデアリマス、サウ云フ機械類其他ノコトヲ、モウ少シ御世話ヲ願フ方法ヲ一ツ講ジテ戴クコトガ、非常ニ急務デハナイカ、ソレカラ鑿岩機デアリマスガ、アノ眞中ニ孔ノ開イタ鑿ガ、日本デ出來ナイノデアリマシテ、是ノ輸入ヲ致シタイト思ヒマス、非常ニ僅カナ割當シカ實ハ戴ケナイノデアリマス、鑛物ヲ出スノニ必要ナモノデアリマスカラ、是等ニ付テモ大藏省ト特別御交渉ヲ願ヒマシテ、斯ウ云フモノコソ相當潤澤ニヤッテ戴イテ、初メテ此仕事ガ出來ルノデアルト思ヒマス、是等ノ方法モヤハリ鑛山局トシテ、特ニ御願ヲシナケレバナラスト考ヘマスノデ、ソレ等ノ點ニ付テノ御意見ヲ伺ヒタイ

○小金政府委員 商工省ニ關聯シマシタコトヲ御答致シマス、朝鮮其他ノ外地ニ付テノ問題ハ、朝鮮ノ殖産局長ガ居ラレマスカラ、其方カラ御答ヲ願フコトニ致シマス、尙ホ支那ノ狀況ニ付テ色々詳シイ御尋ガアリマシタガ、支那ノ狀況ニ付キマシテハ、實ハ今吾々共ノ知ッテ居ルコトデ

モ、言明致シ兼ネル點モアリマスノデ、追ッテ各方面トモ相談致シマシテ、何分ノ御回答ヲ申上ゲマスカ、或ハ御容赦ヲ願フカ、サウ云フ點ニ付テハ一ツ御猶豫ヲ、特ニ御願シテ置キタイト思ヒマス、金ノ產額ノ見透シハ、大體今金澤サンガ仰シヤイマシタ通りニ、内地五十六廳、朝鮮七十五廳ト云フノヲ目標ニ、一生懸命勉強致シテ居ル譯デアリマスガ、金バカリデナシニ、他ノ重要ナ鑛物ノ増産ガ極メテ必要デアリマスノデ、鑛山業者ト致シマシテハ、其方ニモ隨分政府ノ懇願其他ノ必要ニ迫ラレマシテ、金ヲ注ギ込メデ居リマス、ソコデ資金ノ不足ガ多分ニ現レテ參リマシテ、金ノ方ハ何等カ特別ニ融通ノ方法ヲ講ジテ欲シイト云フヤウナ意見モ、屢々出タ譯デアリマス、政府デモ其點ヲ察知致シマシテ、斯ウ云フ特殊會社ヲ作ッテ、金融ノ點ニ十分ナ力ヲ致シ、又貧鑛ノ處理ヲスルト云フヤウナ仕組デ、來テ居ル譯デアリマス、朝鮮ノ需要ニ付キマシテハ、朝鮮ノ當局カラ御話ガアルト思ヒマス、鐵鋼關係ノ問題ハ相當切迫致シテ居リマス、殊ニ造船用鋼材其他ノ鐵ノ需要ニ付キマシテハ、吾々共モ非常ニ心配シテ居ルノデアリマスガ、何分輸入モ自由ニナリマセスシ、ソコデ或ル程度ノ節約ト

申シマスガ、消費ノ抑制ヲ行ヒマシテ、需給ノ「バランス」ヲ取ツテ行クト云フ考デ居ル譯デアリマス、銅、鉛、亜鉛、錫、「ニッケル」ト云フヤウナモノニ付テノ見透シ、竝ニ需要供給ノ方法如何ト云フヤウナ御趣旨ニ關シマシテハ、大體ノ需給ノ見透シハ付ケテ居リマスガ、此數字ハ輸出ノ「バランス」ニモ關係シテ來ルコトデアリマシ、又軍ノ需要ニ非常ナ關係ヲ持チマスノデ、此數字ハ吾々ノ所デハ申上ゲラレナイト云フコトニナツテ居リマスカラ、ドウゾ御容赦ヲ御願致シマス、石炭石油ノ見込ニ付キマシテハ、石油ノ方ハ燃料局ガ商工省ノ外局ニナリマシテ、海軍省、陸軍省其他ノ關係省ト緊密ナ關係ヲ取リマシテ、石油ノ需給ノ見透シヲ付ケテ、著々今其政策ヲ行ツテ居ルノデアリマスカラ、必要ガアリマスレバ燃料局ノ方カラ、御説明ヲ申上ゲマス、石炭ニ付キマシテハ、大體是モ需給ノ見透シヲ付ケマシテ、内地ノ石炭ノ増産、外地ノ石炭ノ増産竝ニ内地ヘノ移入、ソレカラ大陸方面ノ石炭ガドノ程度ニ利用出來ルカト云フヤウナ、大體ノ見透シヲ付ケテ居ル次第デアリマスガ、今日ノ石炭飢饉ト云フ聲ハ、實ハ内地ノ石炭ノ採掘ガ遅レテ居ルト云フヨリモ、輸送關係ニ制限サレテ居

ルノデアリマシテ、現ニ私ノ調べマシタ所デハ、北海道ノ炭ヲ一例ニ取ツテ申上ゲマスト、貨車ガ不足シテ居ッテ、其貨車ヲ廻シタ所ガ、既ニ吹雪ノ季節ニ入りマシテ、坑所貯炭ガ二十万噸モアツテ動カナイ、筑豐ノ石炭ニ付キマシテモ同様デアリマシテ、坑所貯炭ガ四十万噸モアルト云フ現狀デ、實ハ輸送ノ關係ニ縛ラレテ、斯ウ云フ石炭ノ品ガスレト云フ現象ガ起リマシタコトニ付テハ、甚ダ遺憾デアリマスガ、是ハ鐵道省、遞信省トモ能ク連絡ヲ取リマシテ、今一生懸命石炭ノ輸送ニ努メテ貫ツテ居リマス、ソレカラ「アルミニウム」ノ問題ガ出テ居リマスガ、實ハ「アルミニウム」ハ我國ニ於キマシテハ、鑛物トシテ取扱ツテ居ラスノデアリマス、是ハ「ボーキサイト」ヲ原料トシテ製鍊スル方法ガ、一般ノ方法デアリマシテ、日本デハ明礬石カラ製鍊ヲヤツテ居リマスガ、是ハ朝鮮デハ入ッテ居ルサウデスガ、内地ノ方ノ鑛業法ニ於キマシテハ、入レテ居リマセヌ、併シ是モ御説ノ通りニ其増産ニ付テハ、殖産局ノ方ノ關係ニ於キマシテ相當力ヲ入レテ、之ヲ多分ニ増産致シマシテ、銅其他ノ代用品ニマデ致シタイト云フコトヲ、考ヘテ居ラレルヤウデアリマス、大體支那ノ狀況ニ付キマシテハ、只今冒頭ニ

御了解ヲ得マシタ通り、申上ゲル時機ニ達シテ居ラナイモノデスカラ、暫ク御容赦ヲ御願ヒ致シマス、第二ノ問題ノ重要礦物増産法ニ關聯致シマシテ、監督權モ強化サレルシ、又政府ガ乗出シテ裁定トカ決定トカ色色ナコトヲヤリマスニ付テ、經驗ノアル技術者ヲ十分増員シテ、法律ノ運用ヲ圓滑ナラシメナケレバナラスト云フ御注意ハ、洵ニ御尤デアリマシテ、此點ハ法律案ヲ起草致シマスル際ニ、最モ意ヲ用ヒタ所デアリマシテ、經驗ノアル技術者ガ得ラレマスレバ、出來ルダケ之ヲ包容シテ、今現ニ吾々共ノ所ニ居ル優秀ナ技術者ノ配置ヲモ考ヘマシテ、法律ノ施行ノ圓滿ヲ期スル考デアリマス、機械類其他ノ鑛山用ノ器具ト云フモノガ、御説ノ通り實ハ注文ヲ致シマシテモ、非常ニ豫定通り出來ナイノデアリマス、是ニハ非常ニ困ツテ居ル譯デアリマスガ、等シク鐵鋼ノ關係ヲ所管致シマスル私ノ方デアリマスルカラ、其一番ノ元デアル所ノ鑛山用ノ機械器具類ガ出來ナイノデハ、段々品物ガ詰ツテ行ク次第デアリマスカラ、出來ルダケ鑛山用ノ機械器具ニ廻ハス鐵類、鋼材ト云フヤウナモノハ、圓滑ニ廻ハルヤウニ注意ヲ致シテ居ル譯デアリマス、唯機械工場ノ方ガ何分非常ニ忙シイノデ、製作ノ方

ガ間ニ合ハヌト云フヤウナコトモアリマスガ、商工省デ先般來實施シテ居リマス鑛山用ノ貸用機械ノ製作等ニ付キマシテハ、特ニ急ガセマシテ、其豫算ノ施行ニ缺陷ガナイヤウニ注意致シテ居リマス、ソレカラ中空鋼ノ移入ニ付テハ特ニ注意ヲ拂ツテ居ル譯デアリマス、大體斯様ナ狀況デ進ンデ居ル譯デアリマス

○總務朝鮮總督府殖産局長 只今ノ朝鮮ニ關スル御質問ニ對シテ申上ゲテ置キマスガ、朝鮮ハ昭和十七年ニ七十五噸ト云フ計畫ニナツテ居リマスケレドモ、朝鮮ノ鑛山ノ狀態ハ好ササウダカラ、七十五噸以上出スコトガ出來ルノデハナイカト云フ御質問ノヤウデアリマシタ、只今金デ稼行シテ居リマス鑛區ダケデモ、三千四百五十噸デ居リマス、是カラノ獎勵デ尙ホヨリ以上ニナルカト思ヒマス、片一方カラ申シマス、七十五噸以上出シ得ル可能性ガアルヤウモ見エマスガ、御承知ノヤウニ朝鮮ハマダ交通モ開ケテ居リマセヌ、勞働力ヲ集メルコトニ付キマシテハ、餘程ノ苦心ガ要ルノデアリマス、其他配電關係トカ色々ノ關係ガアリマスノデ、ソレ等ノ各方面ニ對シテ補助金モ出シマスシ、ソレカラ他ノ色々ノ方法モ採リマスガ、先ヅ十七年ニ於キマシテハ、サ

ウ云フ諸種ノ關係カラ七十五噸ヲ目的トシ
テヤリマスコトガ、今ノ所デハ精一杯デハ
ナイカト思ッテ居リマス、是カラノ進ミヲ見
マシテ、若シモット旨ク行クヤウデアリマシ
タナラバ、モット増産ヲシテ見タイトハ思ヒ
マスケレドモ、計畫トシテノ七十五噸ヲ、
今直チニ伸バスト云フコトハ、今ノ狀態デ
ハ無謀デハナイカト思ヒマス、ソレカラ鉛、

亞鉛等ニ付テ、朝鮮ガ増産ノ餘地ガアルカ
ト云フ御話デゴザイマシタガ、其計數ハ先
程鑛山局長ノ仰セラレマシタヤウニ、申上
ゲルコトガ出來マセヌガ、十一年ニ發表ニ
ナッテ居リマスガ、鉛ガ二千七百三十七
噸、亞鉛ガ五千七百七十一噸、斯ウ云フ
コトニナッテ居リマス、併シ去年カラヤハリ
重要鑛物ノ増産ニ付テ調査ヲ致シテ居リマ
ス結果ト、産金ノ方ガズツ伸ビテ参リマス
ト、鉛、亞鉛ハ朝鮮ニハ金ニ伴ッテ居ル場合
ガ多イカラ、有望ナ鑛區ガ段々見付カッデモ
參ルト思ヒマスノデ、將來相當増産出來ル
積リデアリマス

○金澤委員 需給關係ニ付テハ、或ハ祕密
ニ屬スルカモ知レヌト思ヒマスガ、例ヘバ
金ニ於テ何年計畫デ七十五噸トカ、五十六
噸トカ、ハッキリシタ數字ガ出ルノデアリマ
スカラ、他ノ方モ、ハッキリシタ數字デナク

トモ、今日増産法マデ出スノダカラ、今ヨリ
凡ソドレ位ハ斯ウ云フ重要鑛物ニ付テハ、
多ク出ス見込ガ立ツト云フコトハ、別ニ祕
密デヤナイノデヤナイカト思ヒマスガ、需
給關係デナシニ、増産ノ關係ダケナラバ宜
イノデヤナイカト思ヒマスガ、能ク其邊適
當ニ御相談下サイマシテ、追ッテ御通知ヲ下
サルナラバ大變有難イト思ヒマス

○川崎委員 私ノ御尋ハ昨日請求致シマシ
タ資料ヲ頂戴シテカラニシタイト云フコト
ヲ、先程述べテ置キマシタガ、只今金澤委
員ノ質問ニ聯關ヲ致シテ、唯一點ダケ此席
デ伺ヒタイト思ヒマス、「アルミニウム」ノ生
産ヲ増スコトニ付テ政府委員ノ御答辯ハ、
ソレノ方法ヲ講ジテ居ル、斯ウ云フコト
デゴザイマシテ、多分色々ノ御努力ヲセラ
レツ、アルト思ヒマスガ、私共其専門家デ
ナイ者ニハ、少シ不可解ノコトガアルノデ
ゴザイマス、例ヘバ臺灣ノ一番南端ノ高雄
港、アノ港ニクツ付ケテ大キナ「アルミニウム」
工場ガ新シク建テラレテ居リマス、大キナ
財團ノ四ツ五ツガ固マッテ出資シテ居ルノ
ダト承ッテ居リマス、其處ノ實際ヲ私共拜見
シテ、其處ノ技師長カ技師長カ知リマセヌ
ガ、色々説明ヲ聽キマシタガ、ソレハ此席
ニ關係ナイコトデアリマスカラ説明ヲ省キ

マス、唯其技師長ノ言フノニ、「アルミニ
ウム」ノ原料、鑛土ハ何處カラ採ッテ來ルカ
ト云フ私共ノ質問ニ對シテ、答ヘテ言フノ
ニ、「アルミニウム」ヲ造ルノニ、原料ハ今
ノ化學デ分ッテ居ル所ハ、斯克ノ三ツノ
原料カラ採ルノダ、併シ此處デハ南洋ノ粘
土質ノモノヲ採ッテ來ルノダ、南洋ハ何處カ
ト言フト、是レノ場所ト云フコトヲ舉
ゲテ御示シナリマシタ、ソレニハ海上輸
送スルニ便利ダカラ、態、コンナ南ノ端ノ非
常ニ暑イ所ヘ、吾々従業員ニハ御苦勞ダケ
レドモ、此處ヘ會社ヲ移ヘタト云フ説明ガ
ゴザイマシタ、ソレカラ總督府デ承リマス
ト、其仕事ヲ大イニ助成スル爲ニ、高雄港ノ
其會社ノ地面ニ連接シタ所ヲ掘ルカ築クカ
シテ、金ヲ掛ケテ居ルヤウナ有様ヲ拜見シ、
説明モ承ッテ參ッタノデアリマス、而シテ技
術長ノ申スコトニハ、今ハ是レノ設備
デアルケレドモ、近イ中ニソレヲ何倍ニス
ルノダト云フヤウナ、其數量マデ申サレマ
シタガ、此處デハ其數字ヲ申上ゲマセヌ、
然ル所其後ノ形勢ヲ見マスルト、南洋方面
ノ或ル地點カラ原鑛ヲ持ッテ來ルノガ、段々
面倒ニナリ臆劫ニナリハセヌカト思フノデ
アリマス、今ハサウ云フコトガナイニシタ
所ガ、來年、再來年、又其先ニ至リマス、

其原料ガ甚ダ危クナルノデハナイカト思フ
ノデアリマス、ソレニモ拘ラズ金澤君ヘノ
御答辯ニハ、色々増産スルヤウニ設備シテ
居ルト言ハレル、又原鑛ヲ何處カラ採ッテ來
テ、ドンナコトニスルカ、又其處ノ鑛土デ
ナク外ノモノモ用ヒルト云フ御話デアリマ
スガ、私共國家ノ爲ニ心配シテ居ルノデゴ
ザイマスカラ、吾々ニ安心ヲ與ヘル程度ニ
於テ、何モ軍事上ニ關係ノヤウナコトマデ
伺ハナクテモ宜シウゴザイマスカラ、斯
ク斯クシテ居ルノダト云フコトヲ、素人分リ
スルヤウニ御示シテ願ヒタイト思ヒマス

○小金政府委員 「アルミニウム」ノ關聯御
質問ニ御答致シマスガ、私ハ實ハ嘗テ其方
ノ増産ニ關聯シタ仕事ヲ擔任サセラレテ居
リマシタ關係上、前ノコトヲ申上ゲタ譯デ
アリマスガ、今仰セノ通り臺灣ノ南ノ方ノ高
雄デヤッテ居リマスル工場ハ、慥カ日本「ア
ルミ」ダト思ヒマスガ、其日本「アルミ」
ノ原料ハ、南洋ノ「ボーキサイト」ダト云フ
コトヲ私モ聞イテ居リマス、南洋ニ相當澤
山ノ「ボーキサイト」ガアリマシテ、是ガ開
發ニハ南洋拓殖トカ、色々ナ會社ガ當ルノ
デハナイカト云フコトヲ私ハ想像シテ居リ
マスガ、是ハ拓務省ノ方ノ關係カラ更ニ御
答ガアルカ、或ハ取調ベテ御答申上ゲテモ

第六類第八號 重要鑛物増産法案外一件委員會議錄 第三回 昭和十三年二月二十五日

宜イト思ヒマス、今私が「アルミニウム」ノ増産ニハ政府モ色々努力シテ居ルト申シマシタノハ、川崎サンノ仰セノ通り、「アルミニウム」ハ大體今ノ所デハ三ツノ原料ガアリマス、先ツ第一ガ粘土デアル所ノ「ボーキサイト」、第二ガ朝鮮カラ今産出サレテ居ル明礬石、第三ガ滿洲ニ非常ニ澤山アルト言ハレテ居リマスル礬土頁岩、此三ツガ原料ニナッテ居ルヤウニ承知シテ居リマス、滿洲ノ此礬土頁岩ノ處理方法ハ特許ニモナッテ居リマスシ、又之ヲ利用シテ相當多量ノ「アルミニウム」ヲ増産シヨウト云フコトガ、日滿ノ關係ニ依リマシテ當テカラ計畫サレテ居ル、斯ウ云フ意味ヲ含メテ申上ダタノデアリマスカラ、ドウゾ御諒承ヲ御願致シマス

○松山委員 今ノ朝鮮殖産局長ノ御答ニ關聯シテ唯一點ダケ伺ヒタイ、朝鮮ガ十一年度末ニ十七匁金ヲ生産シテ居ッタノデスガ、十二年度末ガ何匁ニナッテ居リマスカ、ソレガ分リマスレバ御知ラセテ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ可ナリ多量ノ密輸出ガアッタ筈デアル、ソレハ十二度ノ五月ニ金ノ値ヲ一瓦三圓七十七錢ニ引上ゲテ居リマスカラ、ソレカラコッチハ密輸出ハ極メテ少イト思ヒマスガ、ソレ迄ニハ相當ノ密輸出ガアッタ

筈デアル、故ニ十二年度ノ産金ノ額ガ殖エタルノハ、其密輸出ノ防止ニ依ッテ産金額ガ殖エタノデアッテ、十三年度ハ更ニ——五月マデ半分位ノモノハ密輸出シテ居ッタヤツモ止ルノデスカラ、十二年度、十三年度ニ現ハレテ來ル統計ト云フモノハ、必シモ産出額ガ増スノデハナクテ、密輸出ノ防止ニ依ッテソレガ増スノデアル、ダカラ澤山殖エルト思ッテ安心シテ居タラ、ソレハ産金額ガ増シテ居ルノデハナクテ、密輸出ガ減ッテ居ルノデアルカラ、十四年度カラハ其割合ニ殖エナイト云フコトニナル虞モアルト思フノデアリマスガ、其邊ニ付テノ事情ヲ成ルベク詳細ニ、私共ノ理解出來ルヤウニ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○穗積朝鮮總督府殖産局長 只今松山サンノ御質問デ、十二年ハ幾ラカト云フ御話デアリマスガ、二十四匁ニナッテ居リマス、勿論昨年カラ密輸出ハ大分止ッタヤウデアリマス、併シ朝鮮デ調べテ居リマスルヤリ方ハ、唯内地ニ輸送サレマス金ヲ調べテ居ルノデゴザイマセヌ、各山元カラノ報告ヲ本ニ致シマシテヤッテ居リマス、勿論此十二年ノ二十四匁ト云フノハ、マダ推定ナノデゴザイマス、サウデハアリマスガ、大部分山元カラノ報告ヲ本ニ致シマシテ、ソレニ勿

論此方ヘノ送金ヤ何カノ點モ加味シテ、推定致シテ居ルノデアリマス、ソレカラ見マスト、勿論密輸出ガ本當ニ入ッテ來タト云フ點モ、多少ハアリマスケレドモ、ソレガ爲ニ非常ニ殖エタト云フ風ニハ思ヘナイノデアリマス、山元ノ報告モ可ナリ殖エテ居ル、ソレデ十三年、十四年ニ於キマシテモ、一生懸命デ山元ノ方ノヤリ方ニ對シマシテ獎勵モ致シ、監督モ致シマシテ、是カラ年十匁ヅ、殖ヤシテ行カナケレバナラスノデアリマスカラ、ソレヲ確實ニヤッテ行キタイ、斯ウ云フ決心デ居リマス、一寸御答ヲ申上ゲマス

○松山委員 一寸今ノコトニ關シテ……山元ノ報告ダケヲ當テニシテ居ルノハ、密輸出ヲスル者ハ報告シナイノダカラ、モウ少シ他ノ方法デ注意ヲ加ヘナイト、本當ノ數字ガ出テ來ナイト思フ、密輸出ヲシヨウト思フ者ハ報告ヲシナイデ居ル、今ノ買上値段ハ十四圓十三錢七厘位ニナリマスカ、ソレデモ私ハマダ足ラスト思フ、之ヲ十五圓ニ引上ゲテヤレバ、モウ一ツモ密輸出ガ出來ナイコトニナルノデ、本當ノモノガ出テ來ル、併シ何レニシテモ密輸出ガ止ッテ居ルト言ッテモ、今申シマス山元カラノ報告ダケデハ能ク分ラスト思ヒマス、ソレハ餘程統

計ノ取方ニ細心ノ注意ヲ拂ハナケレバナラスノデハナイカト思ヒマス、一寸ソレダケノコトヲ申上ゲテ置キマス

○穗積朝鮮總督府殖産局長 一寸御答申上ゲマス、先程モ申上ゲマシタ通り、十二年ハ山元ノ報告ダケヲ本ニシテ、推定ヲ致シテ居ルノデハナイノデアリマス、唯山元ノ報告モ十一年ヨリ餘程殖エテ居ルト云フコトヲ、申上ゲタノデゴザイマス、併シ全體ノヤリ方ハ只今松山サンノ仰シヤイマシタヤウニ、山元ノ報告ト、其他ノ内地ニ送りマシタ金ト云フヤウナモノヲ綜合シテ考ヘテ、作ルコトニ致シテ居リマス、一寸御答申上ゲマス

○森田委員長 政府委員デ差支ノナイ質問ガアリマスレバ、此際願ヒタイノデアリマス

○松山委員 私續イテヤッテ宜シウゴザイマスガ

○森田委員長 宜シウゴザイマス——松山君

○松山委員 之ヲ一ツ伺ヒタイノデアリマス、此乾式ト濕式デ採レル分量ノ表ガ出デテ居リマスガ、此乾式デアルニハ硫化銅デアリマスカ、是ガ要ル譯デアリマスガ、日本ニハ硫化銅ノ生産ガ出來ルカ、乾式ヲ今後

殖ヤサウトシテモ、硫化銅ノ生産ガ若シ出
來ナケレバ、何處カ外國カラ之ヲ輸入スレ
バ、ソレヲ殖ヤスコトガ出來ルカ、或ハソ
レハ今爲替管理ノ關係上、輸入出來ナイト
カ、サウ云フ點ノコトニ付テ私共ノ理解ス
ルヤウニ、御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス、
ソレハ金ノ生産ニ關シテデアリマス

○加賀山商工技師 私カラ御答致シマス、

今言ハレマシタ意味ハ銅鑛ヲ殖ヤセ、又内
地ノ銅鑛ハ殖エル見込ガアルカ、若シナケ
レバ何處カ外國カラ買フノカ、斯ウ云フヤ
ウナ意味ニ私ハ存ジマシテ御答致シマス、

内地ノ銅鑛ノ生産ニ付テハ、今回ノ此法律
ニ依リマシテモ、運用ノ如何ニ依ッテハ、相
當増産モ期シ得ラレト考ヘテ居リマスル
ガ、其外鑛山ニ於キマシテ自發的ニ相當増
産ヲ企テ居ル所モアリマスシ、又新ニ内
地ニ於キマシテハ、相當新シイ山モ發見セ
ラレテ、將來性ノアルモノモ見付カッテ居
リマス、隨テ内地ノ鑛石トシテモ將來ハ悲
觀スルニ足ラス、尙ホ相當増産ハ期シ得ラ
レル、斯ウ存ジテ居リマス、其外外國ノ鑛
石トシマシテ、現在入ッテ居リマス物ハ加奈
陀、智利、比律賓、大體此方面ノ物ガ多イ
ト思ヒマス、サウシテ其輸入量モ逐年増加
ノ傾向ニアリマシテ、若シ是ガ此儘繼續ス

ルトスレバ、相當ノ量ハ期待シ得ラレル、
斯ウ考ヘテ居リマス

○松山委員 製鍊所デアリマスルガ、製鍊

所ハ今日全部民營デアリマスガ、ソレデ今
後モ差支ナイ積リデアリマスカ、或ハ國立
ノ製鍊所ノヤウナモノヲ造ル必要ガナイノ
デアリマセウカ、其邊ノ當局ノ御考ヲ伺ヒ
タイト思ヒマス

○小金政府委員 其製鍊所ハ銅ノ意味デゴ

ザイマスカ、ソレトモ錫、鉛、亞鉛ト云フ
ヤウナ……

○松山委員 金ヲ目的トシテデス、私ハ産

金ニ付テ質問ヲ致シテ居リマス

○小金政府委員 金ノ製鍊所ハ只今相當ナ

數ガゴザイマス、ソレデ御承知ノ通りニ金
ハ相當品位ガ悪い所マデ製鍊スルヤウニ、
政府モ勸奨致シテ居リマスノデ、低品位ノ
物モ處理サレル傾向ニナリツ、アリマス、
隨テ運賃ガ嵩ミマス、品位ノ悪い物ハド
ウシテモ運ベナクナルト云フ結果ガ生ジマ
スノデ、成ベク採算點ノ取レル範圍ニ於テ、
澤山ノ製鍊所ガ造ラレルコトハ差支ナイト
云フ見地カラ、製鍊所ノ建設ニ對シテハ、
相當額ノ補助金ヲ出シテ居リマス、豫算面
カラ申シマシテモ、昭和十二年ニ於テ製鍊
所及ビ選鑛場ノ設置助成金トシテ、約百六

十萬圓ヲ計上致シテ居リマス、斯ウ云フヤ

ウナ譯デアリマスカラ、直チニ國立ノ製鍊
所ヲ設置スルト云フ考ハ持ッテ居ラナイ譯
デアリマス、併ナガラ松山サン重々御承知
ノ通り、金鑛ハ特ニ品位ガ悪いカラト云ッ
テ、捨テベキモノデハナイノデアリマス、
品位ガ悪い所ヲ掘ッテ行ク内ニ、富鑛帶ニ
逢著致シマスシ、又新シイ鍬ガ見付カル譯
デアリマスカラ、ソコデ現在ヨリモ、モッ

ト品位ガ悪クテモ山ガ稼行出來ルト云フヤ
ウナ狀態ヲ誘致致シタイ、斯ウ云フ考カラ
茲ニ新設サレル日本產金振興株式會社ニ於
キマシテハ、成ベク品位ノ悪い所ヲ選ッテ

ト申シテハ語弊ガアリマスガ、品位ノ悪い
所ヲ摺ヘテ、製鍊スルト云フヤウナ組織デ
製鍊場ヲ作ル計畫ヲ持ッテ居リマス、隨テ國
立ノ製鍊場ハ作ラレマセヌガ、半官半民ノ
製鍊場ガ作ラレル、サウシテ其貧鑛ヲ處理
スル場合ニ於キマスル或ル程度ノ損失ト云
フモノモ見込デ、之ヲ「カバー」スルト云
フヤウナ計畫ニナッテ居ル次第デアリマス
○森田委員長 砂田委員ノ御要求ニナッテ
居リマス企畫院、爲替管理局長、海軍ト御
見エニナッテ居リマスカラ、順序ヲ戻シマシ
テ砂田委員ノ御質問ヲ願ヒタイト思ヒマス
○砂田委員 私ハ極メテ簡單デスガ、數字

ニ互ル所ハ速記ヲ抜イテ戴イテ結構デアリ

マスカラ、速記ハ抜イテ戴キマス、私ハ過
日豫算委員會ノ大藏分科ニ於キマシテ、國
防上ノ絕對ニ必要ナル金屬、殊ニ高速度
鋼、是ガ今日ノ國防上ニ一番大切ナモノ
デ、今ノ八幡ノ製鍊所トカ、方々デ作ッテ居
リマス銑トカ、或ハ鋼ノ中デ鐵筋「コンク
リート」ニスルトカ「レール」ニスルトカ云
フ程度ノモノモ、國防ニ無論必要デアリマ
スガ、サウ云フモノ以上ニ所謂武器、兵器
ヲ造リマスル爲ニ、一番必要ナモノハ今日

高速度鋼デアアル、斯ウ考ヘテ居ルノデゴザ
イマス、是ガ國內デ全部生産シ得ルヤ否ヤ
ト云フコトガ、今日ノ日本ノ國ニ取ッテ一
番大切ナ問題デアアル、斯様ニ考ヘテ居ルノ
デアリマシテ、隨テ之ヲ造上ゲマスル爲ニ
ハ純鐵ガ必要デアアル、純鐵ニ次イデ例ヘバ
「タングステン」デアルトカ「モリブデン」デ
アルトカ、或ハ「コバルト」或ハ「バナジウ
ム」斯ウ云フモノガナケレバ、本當ノ高速
度鋼ハ出來ナイ、然ルニ其中ノ「タングス
テン」ハ、世界ノ生産量カラ言ヘバ僅ニ一
割位デアリマスルガ、先ヅ朝鮮、滿洲、北
支方面デ得ラレル見當ガ付イテ居リマス、
此コトハ豫算委員會ノ本會議デモ述ベテ置
キマシタガ、若シ之ニ南支ノ江西省ノ「タ

ングステン」是ハ世界ノ七割ヲ持ッテ居ルノ
デアリマスカラ、七割ヲ日滿支ノ經濟「ブ
ロック」ノ下ニ統制ヲスルコトガ出來レバ、
今日ノ英吉利、亞米利加ノ大キナ軍備擴充
ノアノ計畫モ、結局黃金ノ大砲ヲ造リ、黃
金ノ砲塔ヲ造リ「タンク」ヲ造ルコトニナ
ル、實際ノモノハ出來ナクナル、茲ニ著眼
ヲ置イテ日滿支ノ經濟「ブロック」ト云フモ
ノノ中心ヲ、置カナケレバナラスト云フコ
トヲ申上ゲタノデアリマスガ、唯其中デ私
共ノ一番心配致シテ居リマスルノハ「コバ
ルト」金屬「コバルト」是ナクシテハ高速
鋼ノ最モ優秀ナモノハ出來マセヌ、大キイ
モノハ二五%ヲ要スル、少イモノデモ五%
ノ「コバルト」ノ合金ヲシナケレバ、本當ノ
高速度鋼ハ出來マセヌ、是ガ總テ自動車工
業ニモ飛行機ニモ、或ハ其他一際ノ武器ノ
上ニ重大ナ關係ヲ持ツノデアリマス、ソコ
デ是ガドノ位一年ニ要ルカト云フコトニ付
テ、私共ノ計算ヲ致シテ居リマスルノハ、
陸海軍、民間ヲ通ジテ、一年ニ高速度鋼、
即チ「ハイ・スピード・スチール」ヲ少クトモ
〇〇噸要ルト云フ見當ヲ付ケテ居ルノデア
ル、其中ニハ今「コバルト」ノ多ク要ルモノ
モアルシ、少イモノモゴザイマスルガ、私
ハ斯ウ云フ計算ノ基礎カラ、陸海軍大臣ノ

御手許ニハ其計畫ニ要スル「コバルト」ノ數
量ヲ書イテ出シタ、所ガ承ル所ニ依ルト、
企畫院デ大藏省ノ方ヘ御出シニナッテ居ル
モノハ、大變其數量ガ少イ、ソレカラ其中
ニハ代用品ヲ以テ節約シ得ルモノガ〇〇噸
アルト云フヤウナコトヲ御述ニナッテ居ル、
「コバルト」ニ代用スルヤウナモノデ〇〇噸
モ節約シ得テ、此「コバルト」ニ代ルベキ金
屬カ何カ企畫院ノ御調デハアルノデアリマ
スルカ、先以テ大體陸海軍ヲ通ジテ〇〇噸
ノ高速度鋼ガ要ルト私ハ考ヘテ居リマスル
ガ、此點ニ對スル先ヅ御意見ヲ、ドナタカ
ラデモ宜ウゴザイマスカラ、御答ヲ願ヒタ
イト思ヒマス

○大橋海軍機關中佐 只今御豫想ニナリマ
シタ「ハイ・スピード」ノ〇〇噸ハ、吾々ノ
考ヘテ居リマスヨリモ稍、大キナ數字ノヤウ
ニ考ヘテ居リマス、尙ホ企畫院ニ於キ
マシテ幾ラカノ節約、或ハ代用ト云フコ
トヲ言ハレマシタコトニ付キマシテ、吾々
海軍ト致シマシテノ代用品ト云フ意味
合ヒハ、一般ニ「ハイ・スピード」ニ對シ
マスル民間ノ需要ガ、稍、贅澤ニナッテ居
リマシテ、「コバルト」ノ多分ノ含有量ヲ
要シナイモノデモ「コバルト」物ガ含マネバ
ナラスト云フ要求モアラウヤニ考ヘラレ

マス、ソレ等ノモノニ對シマシテハ「タン
グステン」物、或ハ「カバ」物デ間ニ合ハ
セヨウ、尙ホ民間工場デ使ッテ居リマス「ス
チール」ハ、棒一本其物ガ、全部「ハイ・ス
ピード」物デアリマス、是モ主要ナ部分ダ
ケ主要ナ「ハイ・スピード」鋼ヲ用ヒマシテ、
其他ハ他ノ「タングステン」デ間ニ合セルト
云フヤウナ工作モ講ジマシテ節約ヲシヨ
ウ、幾何ノ節約ニナリマスガ、其點ハ申上
ガ兼ネマスルガ、ソレ等ノコトヲ考ヘテ居
ルノデアリマス

○砂田委員 申ス迄モゴザイマセヌガ「コ
バルト」ハ、日本ニ於テ殆ド生産ガアリマ
セヌ、僅ニ山口縣ノ一部分ニ鑛石ガ一年ニ
〇〇噸バカリ出ルト云フヤウナコトデ、是
モ含有量ガ極メテ少イ、山梨縣ニアリマス
分ハ殆ド痕跡ニ過ギナイ、日本デハ出來ナ
イ、又東洋全體ヲ通ジテモ「コバルト」ノ生
產地ハ、未ダ私共ノ調査デハ見付カリマセ
ヌ、遠ク阿弗利加デ白耳義ノ經營ニ依ッテ出
マスルモノガ、一箇年ヲ通ジテ三千噸乃至
昨年度ノ如キ非常ナ需要ガアルヤウニナッ
テモ、一年ニ全世界ヲ通ジテ三千五六百噸
見當ダト、私共ハ考ヘテ居リマス、昨年ノ
二月、此議會デ製鐵事業法ガ提案サレタ時
ニモ、私ハ此事ヲ申上ゲタノデアリマスガ、

愚圖々々シテ居ルト今マデノ一番良イト言
ハレテ居ル瑞典ノ「フロージン」鐵ハ、英吉
利ニ取ラレテシマウゾト云フコトヲ言ウ
タ、ソレカラ僅カノ間ニ瑞典ノ鐵ハ、一手
ニ英吉利ノ手ニ買收サレテシマウタ、瑞典ノ
「フロージン」鐵ト云フ即チ木炭ニ依ッテ吹
イテ居ル一番良イ鐵ハ、英吉利ノ一手ニ取
ラレテシマウタ、其爲ニ當時日本ノ斯ウ云フ
モノニ使用スル、例ヘバ住友ガ使ッテ居ル
「マグネット」デアルトカ云フヤウナモノノ、
素材ニ使フベキ「フロージン」鐵ハ一氣ニ暴騰
シテ、僅ニ世間ニ殘ッテ居ルモノガ出テ參リ
マシテ、一噸ガ二千圓ダトカ千八百圓ダト
カ云フ滅茶苦茶ナ、法外ノ値段ヲ言フヤウニ
ナッテシマウタノデアリマス、是ハ鐵デアリ
マス、而モ其素鐵ニ代ルベキモノダケハ、
吾々モ確信ヲ得テ仕上ゲルヤウニナリマシ
タカラ、コンナ物ハ來ナクテモ少シモ差支
ナイヤウニ迄進ミマシタケレドモ、此「コ
バルト」ト云フモノハ、世界デ僅ニ三千六
百噸デス、之ヲ若シ彼等ノ手ニ一手ニ取ラ
レテシマフト云フコトニナルト、日本デハ
「ハイ・スピード・スチール」ハ出來ナクナル、
是ハ實ニ私共ハ恐シイコトダト考ヘテ居
ル、ソレデ昨年ノ如キモ私共之ヲ考ヘテ、
昨年ノ一月以來「コバルト」ヲ日本ニ集メル

コトガ、國家ノ爲ニモ重大ナコトダト考ヘ
タカラ、有ユル方法ヲ以テ集メタ、ソレカ
ラ更ニ又爲替管理法ガ出テモ、是ガナケレ
バ國防ニ絶對必要ナ物ガ出來ナイト云フコ
トヲ考ヘテ、願書ヲ出シテモ——陸軍ノ判
ヲ貰フテ出シテモ、一月モ三月モスッポカシ
ニシテ居ル、漸ク認可ガ下ッテ來タ時ニハ、
モウ市場ニ製品ハ一品モナイ、仕方ガナイ
カラ世界中ノ「マーケット」ニ電報ヲ打ッテ、
買ハナケレバナラスト云フヤウナ苦ミヲヤッ
テ、漸ク五十艘バカリノモノヲ集メルコト
ガ出來タ、ソレモ五艘トカ、三艘トカ、二
艘半ト云フモノヲ、全世界ノ「マーケット」
カラ集メナケレバ集マラナイ、此企畫院ノ
計畫ニ依ルト、本年ニ三百二十何艘ト云フ
モノヲ御集メニナル、其價格ガ一万千圓ト
云フヤウニ豫定サレテ居ル、此一万千圓ト
云フモノハ、去年ノ六月前後ノ相場ダト私
ハ思ヒマス、是デ現在ノ狀態ヲ、本年一杯
ノ價格ヲ爲替管理デ定メラレルト、是ハ絶對
ニ入ラナイ、斯ウ云フ所ヘ一ツ認識ヲ改メテ
貰ッテ、相當ノ時價ノ變動モアルコトヲ認メ
テヤッテ貰ハナケレバ、イカスコトダト私ハ思
ヒマス、ソコデ今ノ御話ノ如クニ、是ハ民
間デ使フモノガ多過ギル、コ、ガ私ニハ分
ラナイノデ、斯ウ云フ物デ製造致シマスル

物ハ、殆ド吾々ハ陸海軍ノ軍需工業ニ屬ス
ルモノヲ、民間デアル分ガ大部分ダト思ヒ
マス、無論サウデナイモノモアリマセウ、例
ヘバ鐵道ノ車輪ヲ造ル爲ニ使フ場合等ノ如
キハ、是ハ陸海軍以外ノモノデアリマスガ、是
ハ「ハイ・スピード・スチール」二五%ノ「コ
バルト」ヲ入レナケレバ、ドウシテモ出來
ナイモノデス、民間ニ使ッテ居ルモノガ
斯ウ云フモノニ對シテ非常ニ少イト云フ、
贅澤ニ使ッテ居ルト云フ御考ハ、或ハ私ハド
ウカト思フノデス、民間デ使フモノハ悉ク
斯ウ云フモノニ使用サレルノハ、飛行機ノ
器材デアルトカ、自動車ノ器材デアルトカ、
一種ノ國防的ノモノ、サウ云フモノヲ生産
スルノニ馳迄ノ節約ガ出來ルト云フコトニ
私ハ疑ヲ持チマス、假ニ〇艘ノ節約ガ出來ル
ナラソレモ宜シイ、併シ今度ノ戰爭ノ實驗
カラ見タ場合ニ、私ノ考ヘテ居ル〇艘ト云フ
數字ハ、私ハ將來ハモット必要ガアルノデハ
ナイカト考ヘテ居リマス、ソレハナゼカト
申シマスルト、今ノ武器ニ根本的ノ改革ヲ
加ヘナケレバナラナイ時ガ來テ居ルノデハ
ナイカ、例ヘバ軍艦ニ載セマス大砲ニシテ
モ、又機關銃ニシテモ、斯ウ云フモノハ今
マデノ一定ノ數量ヲ射チ盡シテシマヘバ、
ソレデ或ハ熱トカ、其他諸種ノ關係ニ依ッ

テ、モウ一定ノ數量ヲ射ツト直グソレヲ取
替ヘナケレバナラス、若シ是ガモウ少シ所
謂「ハイ・スピード・スチール」ノ良イモノガ
出來テ來テ、一定ノ熱量デ例ヘバ五百發射
テバ役ニ立タヌ大砲ガアル、ソレガ千發射テ
ルダケノモノニスルニハ、モット強イ「ハイ・
スピード・スチール」ガ出來ナケレバ割拔
クコトガ出來ナイ、サウ云フ點ニ改革ヲ加
ヘテ行カナケレバ、海軍ノ搭載ノ大砲ニシ
テモ、陸軍ノ持チマスル武器ニシテモ、斯
ウ云フモノノ改革ヲ加ヘラレルト云フコト
ハ、是ハ「ハイ・スピード・スチール」ノ製品
ノ出來工合如何ニ依ッテ、非常ナ影響ガア
ル、割拔キ得ル強イモノガ出來ルナラバ、
モット強イ、モット耐久力ノアルモノヲ造上
ゲルコトガ出來ル、斯ウ云フ點ニ今カラ力
ヲ注イデ、武器ノ大改良ヲヤラナケレバナ
ラス時ニ、到達シテ居ルノデハナイカト、
竊ニ私共ハ考ヘテ居ル、今度ノ戰爭ノ結果
ニ見マシテモ、或ハ「チェッコ」デ出來タ機關
銃ガ非常ニ便利デアアル、携帯ニモ便利デア
ルガ、同時ニ間斷ナク射テルト云フ便利ガ
アル、ソレハ私ハ細カイコトハ知ラナイノ
デアリマス、少クトモ今ノ武器ニ改良ガ加
ヘラレルト云フコトハ「ハイ・スピード・ス

チール」ノ出來工合如何ニ依ッテ決ル問題デ
アル、ソレガ僅ニ三百艘トカ、五百艘ノ問題
デ決ルノデアリマスカラ、是ハ餘リニ之ヲ
節約スルヤウナコトヲヤラレルト、私ハ
イカスト思ヒマス、特ニ私ノ心配致シマス
ルノハ、只今申上ゲタヤウナ點デ、吾々ハ
少クトモ〇〇艘ハ私共ガヤッテ居ル所デ造ラ
ナケレバナラス、又造ルコトニナッテ居ル、
ソレダケヲ造ルノニハ私共ノ研究ヲシテ
居ル工場ダケデモ〇〇〇艘ヲ要スル、ソ
レガ全國デ要スルノガ〇〇〇艘ダト云フコ
トヲ、企畫院カラ大藏省ヘ傳達サレテハ、
是ハ全然モウ出來ナイコトニナル、此點ハ
今陸軍ガ御見エニナッテ居リマセスガ、是ハ
何モ議論ヲスルノデハナイノデ、私ハ非常
ニ之ヲ心配シテ、殊ニ英吉利、亞米利加ノ
軍備ノ擴張計畫カラ見マスルト、今ニ「コ
バルト」ハ來ナクナッテシマヒハシナイカ、
是ハ少クトモ僅ニ一年ニ三千四百艘ヨリ
ナイノデアリマスカラ、一氣ニ餘計取ラウ
トシテモ、ソレハ絶對ニ取レマセヌ、少ク
トモ多少ノ餘裕ヲ殘スダケノモノヲ、今カラ
準備ヲシテ置カナイト、一朝若シモノ事ガ
アツタナラバ、是ハ全ク手ニ入ラナクナッテ
シマフ、斯ウ云フコトヲ私ハ心配スル、是
ハ吾々ノ利害ノ問題デハナイ、國ノ前途ノ爲
メ、國防上ノ大切ナ問題ダト思フノデ、私

ハ非常ニ之ヲ心配シテ、特ニ委員ヲ志願シテ出テ來トデアリマス、企畫院ノ方ト陸海軍トモウ一遍御協議ニナツテ——一万一千圓デ買ヘルト云フヤウナコトヲ、算盤ヲ置イテ大藏省ニ言ハレテハ、是ハ絶對ニ不可能ニナル、サウスルト金デ抑ヘテ居ルカラ、結局數量ハソレダケハ許サヌト云フコトニナツテ來ルト、是ハ手ニ入ラヌコトニナツテシマフ、サウスルト折角契約シテ居ル武器ノ供給契約ヲ、皆破棄シテ行カナケレバナラヌコトニナル、之ヲ私ハ非常ニ心配ラスルトデアリマス、ドチラカト申セバ、今マデノ日本ノ特殊鋼ノ製造ヲヤツテ居ル人々ハ、左様ナ大キナ「コバルト」ヲ買ウテ居ル人ハアリマセヌ、極メテ僅カナモノヲ手ニ入レテ居リマスガ、是ハ一朝大變ナコトガ起ツテ來ルト、大事ガ起ルト云フコトヲ私共ハ心配シテ、準備ヲシナケレバナラヌト云フコトヲ痛切ニ感ジテ居ルノデアリマスガ、企畫院ナリ、陸海軍ノ方デハ、ドウ云フ御意見ヲ御持チデアリマセウカ、今ノ價格ノ點ナリ數量ノ點ヲ、モウ一應伺ツテ置キタイノデアリマス

シタナラバ差當リ間ニ合フデラウト云フコトハ、只今御話ニモアリマシタカト思ヒマスシ、大藏大臣カラモ屢、御言明ニナリマシタ通り、企畫院ガ主トナリマシテ、關係各省ノ者ガ集ツテ詳細ナル檢討ヲ遂ゲテ、ソレゾレ其ノ數量、金額等ヲ一應豫定致シマシタコトハ事實デゴザイマス、併シ其中ノ總額ガ幾ラデアルカト云フヤウナコトハ、現下ノ國際情勢上是ハ發表シナイト云フコトニナツテ居リマスルコトモ、大藏大臣其他カラ屢、御言明ニナツタ通りデゴザイマスノデ、只今御尋ニナリマシタル、金屬「コバルト」ノ本年ニ於ケル要輸入數量若クハ金額、其單價ト云フヤウナコトニ付キマシテモ、一切申上ゲラレナイ次第ニナツテ居リマスルコトヲ、惡シカラズ御諒承願ヒタイト思ヒマス、唯今モ申上ゲマシタル通り、一應ノ豫算ニ過ギナイ、現實ノ實情ハ刻々ニ變化ヲシテ參リマスルノデ、其變化ニ應ジテ此豫算ヲソレレ、修正セネバナラヌドラウト云フコトハ、何レモ諒承シテ居ル次第デアリマスルカラ、只今ノ金屬「コバルト」ニ關スル御意見ハ、洵ニ御尤ノ點ガ多イカト存ジマスルノデ、私共カラ關係方面ト能ク協議ヲ遂ゲマシテ、其所要量ニ不足アリト認メル

ナラバ、更ニ之ヲ増加スルコトモ勿論考ヘナケレバオラスト思ヒマス、又況シテヤ單價ガ、其單價デハ入手スルコトガ困難デアルト云フヤウナコトガ、ハッキリ分リマシタ場合ニ於キマシテハ、之ヲ入手シ得ルニ必要ナル金額ノ爲替ヲ承認スルカ、許可スルトカ云フコトハ、當然ノコトドラウト存ジマスルカラ、左様ニ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○砂田委員 無論其事ヲ諒承シテ居リマスルカラ、私共ノ方カラ數量モ申上ゲ、又金高モ申上ゲタノデ、私ハアナタ方ニソレヲ言明ヲ求メヨウトシテ居ラスノデス、居ラスガ、併シ今申上ゲタヤウナコトデ、釘付ニナツチャ大變ナコトガ起ルト私ハ心配シマスカラ、茲ニ申上ゲテ、而モ速記ニモ數字ノコトハ一切抜イテ戴タヤウニ御頼ミヲ初ニシタノモ其點デアル、ソレダカラ斯ウ云フコトヲ爲替局長ニ聞カウトスレバ、是ハモウ大藏大臣ト同ジコトデ、御話ニハナラスト思フ、思フガ、併シ事實ハ其通りナツテ居ルコトハ、ソレハ私共ノ方ニハ分ルノデアリマス、何故分ルカト云ヘバ、ソレハ分ル理窟ガアル、之ヲ拵ヘテ行ク上ニハ、ドウシテモ絶對必要ナモノダカラ、ソレガ來ナイト云フコトニナレバ出來ナタカル、ソレダカラ唯私共ハ其點ハ——是ハモウ國防ノ第一義ナンデアル、ソコニ認識ノ誤ガアツタリ、豫定ノ誤ガアツテ、後カラ持つテ行タト、中々管理局長今巧イコトヲ仰シヤッタレドモ、ソシナニ中々旨イコトヲ役所デヤツテ呉レヤシマセヌ、ソレハ中々擦々揉シタ文句ヲ付ケラレテ、認可モ許可モ下リヤシナイ、其内ニハ市場ノ「マーケット」カラ製品ハ消エテ無クナツテシマフ、ソレハ私ハ心配スルカラ、斯ウ云フモノハ私ハ陸軍デモ海軍デモ、チット思切ツテ餘計持つテ居テ貰ヒタイ、サウスレバ卒ザト云フ時ニ間ニ合ヒマス、ソレハ色々其御覺悟ハ今マデニモアルコトト思ヒマスケレドモ、今ノ御豫定ノヤウナコトデ、此世界中ノ軍擴ニ臨ンダコトニハ、恐ロシイコトニナルト云フコトヲ、私ハ心配ノ餘リ此事ヲ質問スルノデアリマス、ドウカ其意味ヲ御含ミノ上、一ツ企畫院デモ、私共ノ方デ調ベタ材料ハ幾ラデモ差上ゲマスカラ、モット實際ノ實情ニ適シタコトニ一ツ考ヘ直シテ置イテ戴カヌト、容易ナラヌコトニナル、此心配ノ餘リ此質問ヲシタノデアリマス、速記ノ中ニ若シ委員長ガ御氣付デ惡イ所ガアリマシタラ、全部抜イテ戴イテ結構デアリマス、ソコデ私ハ此處ヘ出マシタ序ト云ツテハ西

ダ恐縮デアリマスガ、一ツ此間ノ高橋サンノ御質問ニ付テ、モウ一遍茲ニ日本ノ砂鐵ニ付テ御伺ラシテ置キタイ、本年モ東北振興株式會社カ何カヘ、砂鐵ノ研究費トシテ四万圓デアリマシタカ、去年ハ十万圓デアリマシタカ、御廻シニナツタ、アレハ何カ研究ガ出來テ居リマスカ、思フニアノ金ハ東北大學ヘ廻ッテ行クノダト思フ、私ハアノ砂鐵ノ研究費ト云フヤウナコトヲ言ハナイデ、東北大學ニアレダケノ金ヲヤツデ、何デモ金屬ノ研究ヲ爲サルト云フコトナラ大賛成デアル、餘リニ極端ニ彼處ハヒドイ、ソレハ度々申上ゲタヤウニ、顯微鏡一ツモ無イヤウナヒドイ研究所ニナツテ居ル、世界一ノ本多研究所ト云フモノハ、世界ノ人ガ見ニ來ル、其處ニ硬度ヲ計ル何カ「ダイヤモンド」デ押シテ見ル機械モ、私共ガ行ッ時ニハ助手ノ博士ノ人々ガ、私ニ見セヨウト云フノデ一生懸命ニヤツテ居ラレタガ、ドンナニシテモ電氣ガ點カヌ、サウスルト博士ノ人ガ色々苦心ラシテ、時々ハ點クンデスガ、何シロ狂ウテ居ルンダカラト言ッテ、ソレヲ御使ヒニナツテ居ル、方々ノ研究所ヲ廻ッテ居ッたら呼ビニ來テ、今點キマシタカラ早く來テ下サイト云フノデ、見セテ戴キマシタガ、實ニ研究所トシ

テ私ハ世界ニ恥カシイト思ウタ、ソレハ金ヲオヤリニナルコトハ宜イガ、彼處デ砂鐵ノ研究ヲ爲サツテ居ルコトハ、私ハ意義ガナイト思フ、何故ナイカト云フト、御承知ノ如ク日本全國ノ砂鐵ト云フモノハ、島根縣ノ砂鐵ガ「チタン」ヲ一%ヨリ含シテ居ラヌカラ、是ハ木炭デ直グ解ケル、其外ノ砂鐵ハ、氣仙沼ノ二〇%以上含シテ居ルト云フノガ一番高ク、其他ノ場所モ大抵十四五「パーセント」位ノ「チタン」ヲ含シテ居ルカラ、其「チタン」ヲ抜イテ、アトラ海綿鐵ニスルト云フコトヲ、今日マデ何十年間モ研究シテ來タ、又是ニハ何百万圓ノ金ヲ國モ投ジタガ、結局出來ナイト云フコトニナツテ、東北大學デハ私共ガ行ッ時ニハ、モウ全部機械モ取外シテ、跡形モ何ニモ無クナツテ居タ、ソコヘ去年カラ十万圓金ヲ投ゼラレテ、又同ジコトヲモウ一遍繰返シテ御研究ニナツテモ、ソナコトヲシテ居ッテハ、是ハモウ駄目デス、ソレヲモウ一步進ンデ、サウ云フモノヲ採ラナイデ、鐵ダケ採ル工夫ヲ先ニ研究サレナケレバ、丁度アノ兵庫縣ノ飾磨「デヤツテ居ラレル」バナヂウムヲ採ルト云フ砂鐵ノ製鍊ト同ジコトデアル「バナヂウム」ハ採レルカ知ラヌガ、鐵ニスルノニハ「スクラッブ」ヲ三分ノ二以上入レナケレバ鐵ニハナ

ラヌ、斯ウ云フモノバカリヲ今以テ研究サレテ居ル、コンナコトデハ何時マデ經ッテモ、砂鐵工業ト云フモノハ發達ラシマセヌ、ソレハモウ少シ實效的ニ、實益ノアルヤウニ金ヲ投ゼラレルコトガ必要デハナイカ、斯ウ私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、無論日本製鐵其他ニ御命令ニナツテ、製鐵事業法ノ發動ニ依ッテ、御研究ニナツテ居ルトハ思ヒマスケレドモ、何トシテモアレハ私此前モ申上ゲタヤウニ、熔鑛爐ノ中ニ入レ、バ「チタン」ノ化學作用デ、爐ガ先ニ傷ンデシマフ、熱ガ高ク上ル爲ニ爐ガ傷ム、ソレカラ熔鑛爐ニ入レ、バ粉末デアリマスカラ、其儘デ入レ、バ色々ノ支障ガ起ルト云フヤウナコトカラ、前ノ商工大臣ハ「ロータリー・キルン」ト云フヤウナモノヲ大變御自慢ニナリマシタケレドモ、コンナモノデ拵ヘテモ、是ハ鑛滓ヲ拵ヘルヤウナモノデアル、此前モ申上ゲタガ、私ハ過日「クルップ」ノ代表者ニ、オ前ハ日本ニ鑛滓ヲ拵ヘル機械ヲ賣付ケタデハナイカト云フヤウナ話ヲシタ「スクラップ」代用ニ一割カ二割シカ入ラナイヤウナ機械ヲ、何百万圓ト云フ金デ日本ニ賣付ケタデハナイカト云フト、アレハ日本ノ御希望デアッタカラ賣ッタノデ、私共ガ賣付ケタノデハナイト云ッテ居ッタガ、實ニ

是ハ只金ヲ捨テテシマツテ居ルヤウナ氣ガスル、之ニ付キマシテハ、モウ少シ徹底シタ方法ヲ講ジテ戴カナイト、全國ニアル砂鐵、即チ磁石選礦「スレバ」九五%ト云フ鑛石ガ採レル、此砂鐵ガ、北海道ノ端カラ鹿兒島縣ノ南端ニ至ル迄アルモノガ活用サレナイデ、サウシテ外ニ鑛石ヲ仰イデ居ル、其爲ニ今度ノヤウナ事變ガ起ッテ、直グ「ボイコット」ヲヤラレルト、忽チニシテ鑛石ニ不安ヲ感ズルト云フヤウナコトガアル、全國ヲ通ジテアル砂鐵デ行ケバ、何十億噸ト云フモノヲ持ッテ居ルノデスカラ、之ニ對シテハ一ツ、モット徹底シタ工夫ヲ御考ニナラナケレバ「イカスト」思ヒマスガ、商工省ハドウ云フ風ニ御考ニナツテ居ラレマスカ、御答ヲ得タイト思ヒマス

○小金政府委員 砂鐵ニ付キマシテハ、砂田サンハ大變ナ蘊蓄ヲ御持チニナラレマスノデ、私カラ兎ヤ角申上ゲル要ハナイト思ヒマスケレドモ、大體今マデ私共ガ考ヘテヤツテ來マシタコトヲ、搔摘ンデ申上ゲマスト、砂鐵カラ海綿鐵ヲ先ヅ採リマス場合ニ於キマシテ「チタン」ガ色々ナ邪魔ヲ致シマシテ、旨ク行カナカッタリシテ、失敗ノ歴史デアッタヤウニ、是ハ吾々モ考ヘマスガ、色々ナ酸化「チタニウム」トカ、其他ノ化合物

ヲ有效ニ利用スルト云フノモ亦、一ツノ見方デアリマスノデ、各種ノ「チタニウム」化合物ノ利用ノ方面ヲ同時ニ考ヘテ「チタニウム」ノ利用ト、鐵分ノ利用ト云フヤウナ方面ヲ、大體研究スルト云フノガ、最近ノ私共ノ考ヘテ居ル方法ノ一ツデアリマス、御承知ノ通り砂鐵ノ埋藏量ト申シマスカ、我國ニ於ケル賦存狀態ト云フモノハ、相當豐富デアリマスノデ、之ヲ利用スルコトハ御説ノ通り最モ大事ナコトデアリマス、ソコデ日本製鐵株式會社ニモ命令ヲ致シマシテ研究ヲサセテ居リマス、是モ經過ハ良イヤウニ承ッテ居リマスガ、併ナガラ砂田サンノ仰シヤルノハ、直接モット何等カノ製鍊方法ナリ、或ハ處理方法ヲ考究シテ、ソレニ勢ヲ付ケテ成功サセタラドウカト云フヤウナ、御意向デアルヤウニ拜承致シマシタガ、是ハ極メテ大事ナコトデ、只今直チニ斯ウ云フ方面ノ助成方策トカ、或ハ利用方法、或ハ處理方法ニ付テ、是レト云フ案ハ持ッテ居リマセヌケレドモ、今マデノ研究ト、ソレカラ今砂田サンカラ「ヒント」ヲ與ヘラレマシタ其點ニ付キマシテハ、十分考慮致シマシテ、尙ホ廣ク御智慧ヲ拜借致シタイト斯様ニ考ヘテ居リマス

○砂田委員 長ク時間ヲ取ッテ恐縮デアリマ

スカラ止メマスガ、其「チタン」ヨリ「バナジウム」ヲ採ルト云フ研究ハ、今マデ何十年カヤッテ來タ、ソレガドウシテモ旨ク行カナイ、ソレハ行カナイ譯デアル、「チタン」ダケ採ルト云フナラバ、朝鮮ニ行ケバ四二%ノ「チタン」礦ト云フモノガアル、是ハ白粉ニナルトカ煙幕ニナル、ソレデ「チタン」ダケヤラウトスルナラバ、内地デ一〇%一二%ノ砂鐵カラ採ルヨリ簡單ニ採レテ、有利ナモノガアル、サウ云フモノヲヤッテ所謂白粉ニシタリ、煙幕ヲ作ツタリスルノニ使フ、ソレヲ含有量ノ少イ一〇%前後ノ砂鐵ノ中カラ無理ニ採ラウトスル所ニ、私ハ研究ノ誤リガ今マデアッタト思フ、此「チタン」ヲ措イテ置イテ、鐵ダケヲ採ル工夫ヲ考ヘレバ、モット簡單ニ行ケル、ソレヲ私ハ確信ヲ持ッテヤッテ居ルガ、ヤレバ、一遍局長ニモドンナモノデアアルカト云フコトヲ見デ戴キタイガ、五分間デ礦石カラ純鐵ヲ造ルノデアリマス、併シ私ハ補助金ヲ貰ヒタイトハ思ヒマセヌカラ、助成シテ下サイト云フコトハ言ヒマセヌガ、斯ウ云フモノハ助成ト云フモノデ出來ルモノデハナイ、是ハ國ノ爲ニ全力ヲ擧ゲテヤル心持ガアレバ出來テ來ル、デアリマスカラ、ドウカサウ云フ點ニ付テハ——私斯ウ云フコトヲ申上ゲルノハ甚ダ失禮デア

ガ、此前ノ商工大臣ハ餘リ「ロータリー・キリン」ニ捉ハレ過ギテ、アレデナケレバ鐵ハ出來ヌヤウニ心得テ、アレニ捉ハレ過ギタ結果、昭和製鋼所——アノ時ニ私ハ注意ヲシタ、斯ウ云フ硫黃ノ入ッテ居ルヤウナ鐵ヲ拵ヘテ、是デハ何ニモナラヌト云フノニ、一應二十圓デ出來ルトカ云フヤウナコトヲ言ハレテ、無理ヤリニアレヲ買込マレテ、今機械ハ買ッテ來タガ、マダ出來ハシナイ、出來タモノハ「スクラップ」代用ニ一割カ二割ヨリ入レルコトハ出來ナイ、サウ云フコトヲシナイデ、モット平易ニ出來ルモノガアル、ソレヲ色々ナ所カラケテヲ付ケテ廻ッテ居ル、此間昭和製鋼所ノ社長ヤ技師ガ來テ、コンナニ大キクナルトハ想像シナカッタ言ッテ居ルト云フヤウナ有様デア

ル、ソレデアルカラ、是ハ國民ガ協力シテヤル心持ガアレバ、此砂鐵デモ出來ル、所ガ協力ガナイカラ——私共ハ昭和五年以來苦ンデ漸クヤリマシタガ、鑛區ヲ得テ砂鐵ノ鑛石ヲ採リニ行クト、縣廳ノ役人ガ、道路ヲ壞ス危險ガアルカラ五萬圓先ニ保證金ヲ出セトカ、マルデ仕事ガ出來ナイヤウニ邪魔ヲシテ居ル無理解ナ地方長官ナドガアル、ソレカラ幾ラデモ宜イカラ買ッテ呉レト言ッテ居タ砂鐵ガ、此頃ハ砂鐵ガ人氣ガ好クナルト、百萬圓デナケレバ賣ラヌトカ、二百萬圓デナケレバ賣ラヌト云フヤウナ、目茶苦茶ヲ言ッテ居ル狀態デ、結局産業計畫ハ成立ッテ行カナイ、斯ウ云フ事コソ全力ヲ擧ゲテ國民總動員デ、國內生産ニ移スト云フヤウナニ全力ヲ擧ゲナケレバナラヌ、斯ウ云フモノハ今ノ國家總動員トハ違フ、是ハ本當ニ經濟的、産業的ニ行ケル問題デア

○森田委員長 明日ハ午前十時カラ開クコトニ致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス
午後零時十一分散會